資料　1	令和8年度　第2回 佐倉市高齢者福祉・ 介護計画推進懇話会 （令和8年8月21日）

第9期〔令和6年度～令和8年度〕

佐倉市高齢者福祉・介護計画

進行管理・点検評価について
【　令和7年度　】

高　齢　者　福　祉　課

介　護　保　険　課

目　次

1. 佐倉市の高齢者人口

高齢者人口・高齢化率の推移　1

2. 進行管理・点検評価の実施

（１）進行管理・点検評価の実施方法について　2
（２）令和７年度 進行管理（進捗状況）について　3
（３）令和７年度 重点施策の評価（課題・対応）について　4
（４）令和７年度 評価（総合）について　7

3. 第9期 佐倉市高齢者福祉・介護計画 施策の進捗状況一覧

第1章「生きがい・介護予防」～地域で支え合いながら活躍する高齢者へ～　8

1 生きがい支援　8
(1)高齢者への情報発信、IT支援
(2)学習機会の確保
(3)活動機会の確保
(4)敬老事業の推進

2 いきいき健康づくり　10
(1)健康づくりの推進
(2)スポーツ活動の推進

3 介護予防の総合的な推進　10
(1)一般介護予防事業
(2)介護予防・生活支援サービス事業

第2章「安心な生活の確保」～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～　11

1 安心できる在宅福祉サービスの提供　11
(1)一人暮らし・高齢者世帯を支える在宅福祉サービス
(2)在宅生活における介護者等への負担軽減
(3)見守り支援・もしもの時の支援

2 認知症にやさしい佐倉の推進　13
(1)認知症の理解を深めるための普及・啓発
(2)予防
(3)医療・ケア・介護サービス・介護者への支援
(4)認知症バリアフリー、社会参加支援

3 在宅医療・介護の連携と推進　15
(1)日常療養の支援
(2)入退院支援
(3)急変時の対応
(4)看取りの対応

4 権利擁護と地域での見守り　15
(1)成年後見制度
(2)地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）
(3)高齢者の虐待防止
(4)養護老人ホームへの適切な入所措置

5 在宅生活を支える体制の充実　16
(1)生活支援体制の整備
(2)地域ケア会議の推進

6 高齢者が暮らしやすい住環境の整備　16
(1)福祉のまちづくりの推進
(2)安心して利用できる交通基盤の整備
(3)高齢者が生活しやすい住まいの整備

7 地域包括支援センターの運営　18
(1)安定した事業運営
(2)相談体制の充実と相談機関の連携
(3)専門職による介護支援専門の支援体制
(4)圏域間の連携
(5)地域包括支援センターの事業評価

8 災害・感染症対策の推進　19
(1)災害への対応
(2)感染症等による健康危機への対応

第3章「介護」～いつまでも自分らしく生きるために～　19

1 介護保険制度の適切な運営　19
(1)介護保険サービスの推進
(2)介護保険制度の円滑な運営や給付の適正化
(3)介護サービスの質の向上
(4)介護保険などに関する情報の提供・周知・啓発

2 介護人材の確保と効率化　20
(1)介護人材の確保と定着

１．佐倉市の高齢者人口

「高齢者人口の推移」

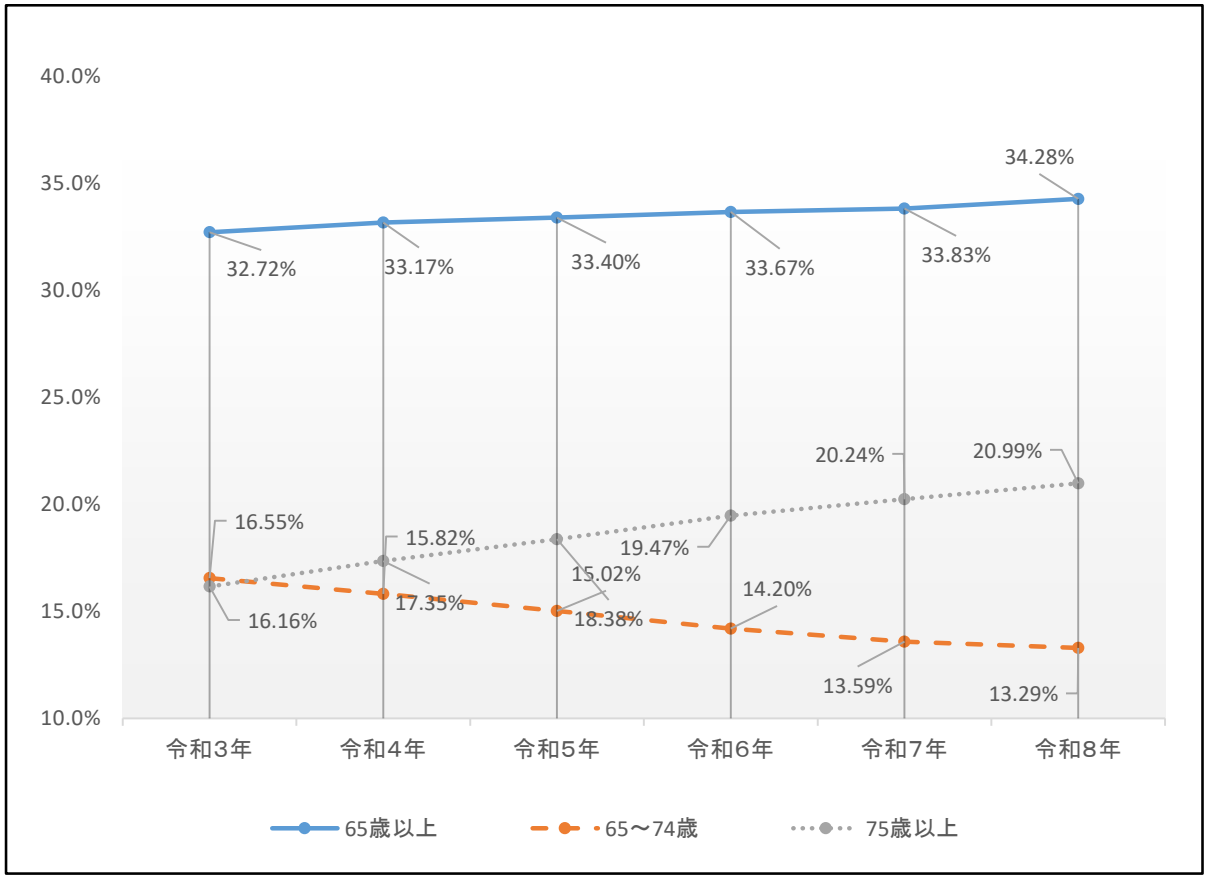
〔単位：人〕

区分	第８期計画（実績）			第９期計画（実績）		第９期計画（推計）
	令和３年（2021年）	令和４年（2022年）	令和５年（2023年）	令和６年（2024年）	令和７年（2025年）	令和８年（2026年）
全人口	172, 478	171, 571	170, 508	169, 656	168, 747	163, 298
40歳未満	57, 726	56, 535	55, 601	54, 750	54, 142	50, 563
全人口比	33. 5%	33. 0%	32. 6%	32. 3%	32. 1%	31. 0%
40～64歳	58, 321	58, 125	57, 958	57, 777	57, 521	56, 757
全人口比	33. 8%	33. 9%	34. 0%	34. 1%	34. 1%	34. 8%
65歳以上	56, 431	56, 911	56, 949	57, 129	57, 084	55, 978
全人口比	32. 7%	33. 2%	33. 4%	33. 7%	33. 8%	34. 3%
65～74歳	28, 553	27, 139	25, 616	24, 089	22, 931	21, 707
全人口比	16. 6%	15. 8%	15. 0%	14. 2%	13. 6%	13. 3%
75歳以上	27, 878	29, 772	31, 333	33, 040	34, 153	34, 271
（全人口比）	16. 2%	17. 4%	18. 4%	19. 5%	20. 2%	21. 0%

※1　実績：各年9月末時点の住民基本台帳人口（外国人含む。）

※2　推計：令和8年以降は住民基本台帳人口によるコーホート変化率で算出

「高齢化率の推移」



２．進行管理･点検評価の実施

「佐倉市高齢者福祉・介護計画」は、佐倉市の高齢者福祉及び介護保険事業運営にかかる基本理念・基本目標を定めるとともに、その実現のための施策を定めるため策定する計画です。

第９期計画　計画期間：令和６年度から令和８年度まで

基本理念	みんなで支え合い、よろこびが生まれる都市・佐倉

基本目標	可能な限り住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、地域包括ケアシステムの構築、推進を図る。

本計画に基づく施策・事業の進行管理については、公募市民や医療、福祉、介護、学識の各分野から選出された委員で構成されている「佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会」に実施状況等を報告し、評価や点検等をいただいています。

懇話会の評価やご意見等は、適正な事業の実施や事業内容の見直しなど、円滑な計画の実施に向けて活用させていただいています。

（１）進行管理･点検評価の実施方法について

介護保険法には、要介護状態等となることの予防や介護給付等に要する費用の適正化への取組み等について、自己評価し、その結果を公表するよう努めると規定されています。
第９期佐倉市高齢者福祉・介護計画は、各種施策の進捗状況が把握できるようするため、できるだけ数値等の指標を採用するようにしていますが、取組み内容によっては数値等が採用できないものがあります。

● 施策評価
はじめに、各施策について年度末時点の進捗状況を把握し、その評価を行います。

①取組みに指標（計画値）があるものは《測定評価》を実施
②取組みに指標がないものは、《進捗評価》を実施

その結果を各章ごとや重点施策等に区分し、結果を集計します。

●重点施策評価
次に、重点施策について、評価を行います。
第９期計画の重点項目でありますので、その自己評価結果及び課題、対応策を明確にします。

以上のとおり、施策評価、重点施策評価、年度の評価（総合）を行います。

（２）令和７年度　進行管理（進捗状況）について

各施策の進行管理（進捗状況）は、次のとおり実施しました。

●指標の計画値 「有」の場合

通しNo.	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業に対する概要
	○○○○事業	利用人数（人）	R6	50	45	90.0%	記入済
			R7	55	50	90.9%	実施状況の内容や成果、課題や実施できない場合の状況等を簡略に記入
			R8	60			↑ 実績値/計画値の割合（自動判定）

※取組名（事業）ごとに評価を行い、1つの取組名（事業）で指標が複数の場合は、測定結果の平均値を基本として集計しています。

●指標の計画値 「無」の場合

通しNo.	取組名	指標名	年度	進捗	事業に対する概要
	○○○○事業	設定無	R6	○	記入済
			R7	△	実施状況の内容や成果、課題や実施できない場合の状況等を簡略に記入
			R8		↑ 進捗状況を選択　◎優良 ○おおむね良好 △やや低調 ×低調

令和7年度の施策130件の取組の進捗状況を、通常施策と重点施策、指標（計画値）の有無で区分して、その評価を次の表のとおり集計しました。

なお、進捗の評価（実施結果）は、表のとおりA・B・C・Dに 区分し、集計したものを「評価 計」としています。

		指標　有　施策				指標　無　施策				評価　計			
実施結果（自己評価）		A 100%以上	B 75.0～99.9%	C 50.0～74.9%	D 50%未満	A ◎優良	B ○おおむね良好	C △やや低調	D ×低調	A 優良	B 良好	C やや低調	D 低調
第1章 35	通常3	0	1	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0
	重点32	13	7	7	1	2	2	0	0	15	9	7	1
	計	13	8	7	1	3	3	0	0	16	11	7	1
第2章 79	通常42	7	4	1	1	12	17	0	0	19	21	1	1
	重点37	15	7	1	2	9	3	0	0	24	10	1	2
	計	22	11	2	3	21	20	0	0	43	31	2	3
第3章 16	通常 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重点16	5	1	0	0	6	2	2	0	11	3	2	0
	計	5	1	0	0	6	2	2	0	11	3	2	0
合　計		40	20	9	4	30	25	2	0	70	45	11	4
130　施策					73				57				130

【令和7年度　進行管理（進捗状況）の概要】

指標 有 施策では、進捗の評価（実施結果）A が54.8%（40/73）と最も多く、指標 無 施策でも Aが52.6%（30/57）と最も多くなっています。130の施策全体（「評価 計」）では、B以上が88.5%（（70+45）/130）で、CやDは15施策です。

令和6年度の実績（6ページ）と比較すると、指標 有 施策でBが5施策減少し、Cが5施策増加しました。指標 無 施策でAが1施策減少し、Bが2施策増加しました。

令和7年度については、全体として優良、良好の割合が多いことから施策・取組は着実に進められているものと判断できますが、一部の施策・取組については課題等を把握し改善策等を検討する必要があります。

（３）令和７年度　重点施策　の評価(課題・対応)について

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

項目番号	区分			
		取組	第9期計画における具体的な取組	章
		目標	第9期計画における事業内容、指標等	取組No.
		結果	**実施内容**	
		課題と対策		
1	①自立支援、介護予防、重度化防止	取組	**地域活動への参加の促進** **（施策1-1　生きがい支援）**	第1章　-1-(1) 取組No.5・13
		目標	高齢者クラブ活動支援事業　単位クラブ数:44クラブ シルバー人材センター補助事業　就業延人数:108,000人	
		結果	高齢者クラブ活動支援事業　単位クラブ数:41クラブ シルバー人材センター補助事業　就業延人数:93,231人	
		課題と対策	・定年延長や再雇用制度の広がりや地域社会のつながりの希薄化等の要因により、目標値に届かなかったと考えられる。 ・今後とも、高齢者の地域交流・活動への参加を促進し、生きがい支援となるよう引き続き各団体への支援を継続していく。	
1		取組	**地域活動への参加の促進** **（施策1-3　介護予防の総合的な推進）**	第1章　-3-(1) 取組No.24・27
		目標	地域介護予防活動支援事業　介護予防ボランティア養成　新規養成者数:30人 生活支援体制整備事業　　週1回以上活動する通いの場:120か所	
		結果	地域介護予防活動支援事業　介護予防ボランティア養成　新規養成者数:15人 生活支援体制整備事業　　週1回以上活動する通いの場:90か所	
		課題と対策	・目標値には届かなかったが、週1回以上活動する通いの場は前年度と比較して増加している。 ・介護予防ボランティア養成　新規養成者数は前年度と比較して減少している。就労等高齢者の社会参加が多様化している中で、地域活動への参加をどのように行っていくかが課題。 ・引き続き地域活動が継続していけるよう、周知及び団体支援を図っていく。	
2		取組	**地域における包括的支援体制の整備** **（施策2-5　在宅生活を支える体制の充実）**	第2章　-5-(1)(2) 取組No.85・88
		目標	協議体の設置及び運営　協議体　開催回数:32回 地域ケア推進会議の実施　地域ケア圏域推進会議　開催回数:10回	
		結果	協議体の設置及び運営　協議体　開催回数:42回 地域ケア推進会議の実施　地域ケア圏域推進会議　開催回数:10回	
		課題と対策	・協議体について、地域の集まりの場に生活支援コーディネーターが出向き地域課題の共有・検討を行った。	
2		取組	**地域における包括的支援体制の整備** **（施策2-7　地域包括支援センターの運営）**	第2章　-7-(2)(4) 取組No.107・108
		目標	相談体制の充実と相談機関の連携　総合相談　相談件数:6,270件 専門職による介護支援専門員の支援体制　介護支援専門員　相談件数　945件	
		結果	相談体制の充実と相談機関の連携　総合相談　相談件数:6,508件 専門職による介護支援専門員の支援体制　介護支援専門員　相談件数　922件	
		課題と対策	・地域包括支援センターにおいて高齢者の介護や見守り、認知症など様々な内容の相談対応を行った。相談数は増加傾向にあり、センターの負担軽減や人員の確保に努める必要がある。	

項目番号	区分	施策	第9期計画における具体的な取組	章
		目標	第9期計画における事業内容、指標等	取組No.
		結果	**実施内容**	
		課題と対策		
3	防止①自立支援、介護予防、重度化	取組	**施策2-2　認知症にやさしい佐倉の推進**	第2章　-2-(1)(3) 取組No.51・63
		目標	認知症サポーター養成講座　開催回数:45回、受講者:1,300名 介護者のつどい　開催回数:40回、延べ参加者数:410名	
		結果	認知症サポーター養成講座　開催回数28回、受講者938名 介護者のつどい　開催回数: 40回、延べ参加者数:245名	
		課題と対策	・地域の理解を深めるため、認知症の人と関わることの多い小売業・金融機関・公共交通機関等の従業員、小中学生、高校生ほか学生に向けた養成講座の拡大が必要。積極的に認知症サポーター養成講座の周知を進める。	
4	②介護給付等費用の適正化	取組	**施策3-1　介護保険制度の適正な運営**	第3章　-1-(2) 取組No.118・119・122
		目標	サービスの質の担保　集団指導回数1回、運営指導回数:20回 介護給付適正化事業の取組　ケアプラン点検の実施数:20件	
		結果	集団指導回数1回、運営指導回数24回 ケアプラン点検の実施数　26回	
		課題と対策	・集団指導について、計画的に進められた。 ・運営指導については、計画値を上回って実施することができた。 ・ケアプラン点検等についても、計画値を上回って実施することができた。 ・引き続き、実施時期の前倒しを検討するなどして計画的に運営指導等を進めていく。	
5		取組	**施策3-2　介護人材の確保と業務効率化**	第3章　-2-(1)(2) 取組No.128・129・130
		目標	介護職員初任者研修修了者:24名　　介護支援専門員等資格取得補助:8名 介護現場の職場環境の改善(介護ロボット、ICTの活用等による業務効率化等)	
		結果	介護職員初任者研修修了者:19名　　介護支援専門員等資格取得補助:28名 介護現場の職場環境の改善(介護ロボット、ICTの活用等による業務効率化等)	
		課題と対策	・介護支援専門員等の支援について、令和7年度からは資格取得に加え資格更新に関する補助を開始。事業の周知に努め補助事業を実施することで、市内介護サービス事業所等の介護支援専門員等の確保・定着につなげる。 ・電子申請を活用する事業者が少数であることから、事業者への周知を進める。	

参考資料

○令和6年度実績の施策評価の状況

区分		指標　有　施策				指標　無　施策				評価　計			
実施結果（自己評価）		A 100%以上	B 75.0～99.9%	C 50.0～74.9%	D 50%未満	A ◎ 優良	B ○おおむね良好	C △やや低調	D × 低調	A 優良	B 良好	C やや低調	D 低調
第1章 35	通常3	1	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	0
	重点32	12	12	3	1	2	2	0	0	14	14	3	1
	計	13	12	3	1	3	3	0	0	16	15	3	1
第2章 79	通常42	6	6	0	1	14	15	0	0	20	21	0	1
	重点37	18	5	0	2	7	3	1	1	25	8	1	3
	計	24	11	0	3	21	18	1	1	45	29	1	4
第3章 16	通常 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重点16	3	2	1	0	7	2	1	0	10	4	2	0
	計	3	2	1	0	7	2	1	0	10	4	2	0
合　計		40	25	4	4	31	23	2	1	71	48	6	5
130　施策					73				57				130

※令和5年度実績の施策評価とは、評価項目、指標が異なります。

○令和6年度実績の評価（総合）の状況　抜粋

令和5年度に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられて以降、各種施策の進捗状況については回復傾向にありますが、一部にはコロナ禍以前のような市民参加が得られない状況が見受けられます。

感染症による社会生活自粛の影響が残る中ではありますが、重点施策となっている地域活動への参加の促進については、目標値には届かなかったものの、前年度と比較して増加がありました。生産年齢人口の減少に伴う定年延長や高齢者の再就職が進むなど社会構造の変化により、高齢者の地域活動への参加が減少傾向となることが懸念されることから、引き続き支援を継続していく必要があります。

令和6年度の各種施策については、全体として優良、良好の割合が多いことから施策・取組は堅実に進められているものと評価します。

今後も、佐倉市高齢者福祉・介護計画に基づき、各施策を着実に進めることができるよう、計画の進行管理、事業の評価を通じた課題の把握や分析、改善策の立案に努めてまいります。

（４）令和７年度　評価(総合)について

令和7年度の計画にかかる各種施策・取組の進捗は、少子高齢化の進展や就労する高齢者の増加などにより参加する高齢者の減少などに伴い、一部の施策に低調となる傾向が見られました。

重点施策である地域活動への参加の促進について、市民や高齢者の参加や協力に関する指標は、目標を下回るものが散見されます。
高齢者の地域活動への参加は、地域社会と関わりを持てる生きがいであり、介護予防にもつながります。
地域活動の担い手の確保や地域活動団体への支援、高齢者が地域活動に参加・協力しやすい方法などの課題に対応しながら、地域活動への参加を促進する施策を推進していく必要があります。

地域における包括的支援体制の整備に関する指標は、目標を達成しました。
一人暮らし高齢者や認知症高齢者等の増加が見込まれる中、生活支援コーディネーターによる地域の支え合いの仕組みづくりを引き続き支援していく必要があります。
また、高齢者の日常生活を支えている地域包括支援センターほか医療、介護など関係機関と連携強化を図りながら、包括的支援体制の整備を促進していきます。

認知症にやさしい佐倉の推進については、認知症サポーター養成講座、介護者のつどいの参加者数が目標を下回りました。
認知症の人との関わりのある小売業や金融機関、小中学生、高校生に向けた養成講座の拡大が求められることから、広報周知を積極的に進めていく必要があります。
また、認知症地域支援推進員と連携して、認知症にやさしい佐倉を推進していきます。

介護保険制度の適正な運営について、事業者への集団指導と運営指導、ケアプラン点検は計画どおりに実施することができましたので、今後もこれらを通じて適切な給付や支出に努めていきます。

介護人材の確保については、令和7年度から介護支援専門員資格の取得だけでなく更新に関する補助を開始し、目標を上回る補助を行うことができました。
今後も、介護人材の確保が難しくなる中、介護現場の実情に把握に努めながら介護人材を確保、定着させるための施策に取り組む必要があります。
また、介護職場の業務効率化に向けて電子申請の活用について、事業者への周知を行っていきます。

令和7年度については、全体としては優良、良好の割合が高いことから、各種施策・取組は着実に進められていると判断できますが、一部の施策・取組については課題等を把握し改善等を検討していく必要があります。
今後も、佐倉市高齢者福祉・介護計画に基づき、各施策を着実に進めることができるよう、計画の進行管理、事業の評価を通じた課題の把握や分析、改善策の立案に努めてまいります。

３．第９期　佐倉市高齢者福祉・介護計画　施策の進捗状況一覧

第９期　計画〔令和６年～令和８年度〕

※　重点施策

第1章 「生きがい・介護予防」 ～地域で支え合いながら活躍する高齢者へ～

1　生きがい支援

(1)高齢者への情報発信、IT支援

①高齢者の生きがいにつながる各種情報の発信

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
1	生きがいにつながる情報発信	設定無	R6	◎	7/1号こうほう佐倉に生きがいにつながる情報について掲載。「高齢者を支える地域資源ブック」をHP更新。
			R7	◎	7/1号こうほう佐倉に生きがい支援に繋がる情報について掲載。「高齢者を支える地域資源ブック」をHP更新。
			R8	－	－

②高齢者へのIT支援

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
2	高齢者へのIT支援	設定無	R6	◎	令和6年9月下旬から令和7年1月にかけて、中央公民館、臼井公民館、志津市民プラザ、根郷公民館、佐倉南図書館の5施設において、シニア世代を対象としたスマートフォン講習会を開催しました。 本講習会では、スマートフォンの基本操作に加え、佐倉市が提供する独自のデジタルサービスの利用方法など、参加者の習熟度に応じた内容で構成された全11種類の講座を実施しました。期間中の開催回数は計110回であり、各講座は60分間の構成で行いました。 講習会には、延べ1,382名の方が受講され、参加率は88％と高い水準となっています。受講後に実施したアンケート調査では、「基本的な操作が理解できた」「できることが少し増えた」といった前向きな意見が多く寄せられ、回答者のうち72％が「満足」または「やや満足」と回答しました。また、「今後はインターネットや行政サービスを活用してみたい」といった声も多く見受けられ、高齢者のデジタル活用に対する意識の向上が確認されました。
			R7	◎	令和7年10月から令和8年1月にかけて、中央公民館、臼井公民館、志津市民プラザおよび佐倉南図書館の4施設において、シニア世代を対象としたスマートフォン講習会を開催しました。 本講習会では、スマートフォンの基本操作に加え、本市が提供するデジタルサービスの利用方法等について、参加者の習熟度に応じた内容で構成し、全11種類・計110回の講座を開催しました。 また、令和7年度については、前年度の受講者アンケートにおいて「講座時間が短い」とのご意見があったことを踏まえ、1講座あたりの講習時間を60分から80分へ拡充し、学習機会の充実を図ったところです。 講習会には延べ1,463名が参加し、参加率は89％と高い水準となりました。受講後のアンケートでは、「スマートフォンを活用する機会が増えた」「操作ができるようになり楽しい」といった前向きな意見が多く寄せられ、本事業が高齢者のデジタル活用の促進に寄与していることが確認されました。 さらに、アンケートにおける「他に受講したい内容」としては、「ChatGPTの利用方法」や「LINEの応用的な使い方」など、より実践的かつ利便性の向上に資する内容を希望する意見が多く見られ、高齢者におけるデジタル活用意欲の高まりが確認できました。 これらの結果を踏まえ、次年度においては、基礎的な操作支援に加え、より活用段階に踏み込んだ講座内容の充実を検討するとともに、受講者ニーズを反映した効果的な事業展開を図ってまいります。
			R8	－	－

(2)学習機会の確保

①公民館等における生涯学習等の推進

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
3	市民大学講座運営事業	講座の開催館数	R6	3	3	100.0%	中央公民館、志津公民館、根郷公民館で市民大学を実施しました。
			R7	3	3	100.0%	中央公民館、志津公民館、根郷公民館で市民大学を実施しました。
			R8	3	－	－	－

②各種出前講座の確実施

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
4	各種出前講座の実施	設定無	R6	○	職員による出前講座を、市民カレッジほか27回実施。昨年度34回よりは減少。
			R7	○	職員による出前講座を、市民カレッジほか19回実施。地域団体への支援として33回実施した。
			R8	－	－

(3)活動機会の確保

①地域活動の推進

・高齢者クラブ活動への支援

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
5	高齢者クラブ活動支援事業	周知回数（回）	R6	3	2	66.7%	こうほう佐倉、市ホームページでの周知を実施。
			R7	3	2	66.7%	こうほう佐倉、市ホームページでの周知を実施。
			R8	3	－	－	－
		単位クラブ数（クラブ）	R6	44	42	95.5%	単位クラブ数は昨年度から増減なし。
			R7	44	41	93.2%	前年度と比較して微減。
			R8	45	－	－	－

・老人憩の家の管理運営

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
6	老人憩の家の管理運営事業	利用者数（人）	R6	15,000	14,780	98.6%	うすい荘4,308人、千代田荘3,087人、志津荘7,385人
			R7	17,000	15,086	88.8%	うすい荘3,670人、千代田荘3,225人、志津荘8,191人
			R8	19,100	－	－	－

・ボランティア活動への支援

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
7	個人ボランティア登録事業	利用者数（人）	R6	192	186	96.9%	佐倉市ボランティアセンターの実績。（活動の相談・支援、ネットワークづくり、養成・研修、情報発信、活動支援、調査研究を実施している。）
			R7	195	274	140.6%	佐倉市ボランティアセンターの実績。（活動の相談・支援、ネットワークづくり、養成・研修、情報発信、活動支援、調査研究を実施している。）
			R8	198	－	－	－

8	市民公益活動サポートセンター管理運営事業	登録団体数（団体）	R6	170	153	90.0%	団体活動拠点提供、印刷支援、団体資料の取次配布、市民公益活動情報サイトによる団体の情報発信を継続して実施。市民公益活動団体の交流や推進に資する市民活動発表会を開催。
			R7	174	154	88.5%	団体活動拠点提供、印刷支援、団体資料の取次配布、市民公益活動情報サイトによる団体の情報発信を継続して実施。市民公益活動団体の交流や推進に資する市民活動発表会を開催。
			R8	178	－	－	－

・各種公共施設における各種活動の推進

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
9	公民館管理運営事業	利用者数（人）	R6	180,000	210,291	116.9%	事業計画通りに事業（講座）を実施し、計画値より施設の利用者数が増加しました。
			R7	180,000	220,073	122.3%	事業計画通りに事業（講座）を実施し、計画値より施設の利用者数が増加しました。
			R8	180,000	－	－	－
10	コミュニティセンター管理運営事業	利用者数（人）	R6	278,053	157,400	56.7%	新型コロナウイルス感染拡大による利用制限時に大幅に利用者数が減少しており、制限が解除されるにつれ徐々に回復しているが、活動を止めてしまった団体も多くあり実績値は計画値に及んでいない。
			R7	279,903	161,740	57.8%	新型コロナウイルス感染拡大による利用制限時に大幅に利用者数が減少しており、制限が解除されるにつれ徐々に回復しているが、活動を止めてしまった団体も多くあり実績値は計画値に及んでいない。
			R8	281,770	－	－	－
11	地域福祉センター管理運営事業	利用者数（人）	R6	137,700	123,454	89.7%	令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、令和5年度よりさらに増加傾向で推移している。
			R7	137,700	126,831	92.1%	公共施設再配置に取り組むことでの影響はありつつも、令和6年度より増加傾向で推移している。
			R8	137,700	－	－	－

・世代間交流を育む活動の推進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
12	世代間交流を育む活動の推進	設定無	R6	○	児童センター及び老幼の館において遊びや各種行事を通じて世代間交流を育む活動を推進できました。
			R7	○	児童センター及び老幼の館において遊びや各種行事を通じて世代間交流を育む活動を推進できました。
			R8	－	－

②就労支援

・佐倉市シルバー人材センターへの支援

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
13	シルバー人材センター補助事業	会員数（人）	R6	1,110	1,035	93.3%	R5年度1,035名。入退会者数が同数となり、現状維持。
			R7	1,110	1,025	92.4%	前年度と比較して微減。
			R8	1,110	－	－	－
		就業延人数（人）	R6	108,000	96,495	89.4%	R5年度95,792名。703名の増。
			R7	108,000	93,231	86.4%	前年度と比較して微減。
			R8	108,000	－	－	－
		年間就業率（%）	R6	85.0	85.5	100.6%	R5年度84.4%。微増。
			R7	85.0	82.3	96.9%	前年度と比較して微減。
			R8	85.0	－	－	－

・高齢者福祉作業所の運営

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
14	レインボープラザ佐倉管理運営委託事業	利用団体数（団体）	R6	130	217	167.0%	R5年度219団体。微減。
			R7	130	140	107.7%	前年度と比較して減少。
			R8	130	－	－	－
		利用者数（人）	R6	1,230	1,665	135.4%	R5年度1,756名。微減。
			R7	1,230	1,056	85.9%	前年度と比較して減少。
			R8	1,230	－	－	－

・高齢者のための就業に関する相談及び情報提供

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
15	シルバー人材センター入会説明会	参加者数（人）	R6	250	188	75.2%	説明会参加者のうち、152名が入会。入会率は81%。
			R7	260	186	71.6%	説明会参加者のうち、127名が入会。入会率は68%。
			R8	270	－	－	－
16	地域職業相談室運営事業	利用者数（人）	R6	6,676	6,531	97.9%	市とハローワークが協力して設置運営。情報提供や各種機関の紹介など、高齢者等の就業機会の確保に向けた活動を継続。 インターネットの普及、求人紹介システムの多様化により、利用者は減少傾向にある。
			R7	6,162	6,572	106.7%	市とハローワークが協力して設置運営。情報提供や各種機関の紹介など、高齢者等の就業機会の確保に向けた活動を継続。 インターネットの普及、求人紹介システムの多様化により、利用者は減少傾向にあるが、令和7年度は若干増加に転じた。
			R8	5,688	－	－	－

(4)敬老事業の推進

①おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業の推進

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
17	おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業	実施地区数（地区）	R6	14	13	92.9%	R6年度は13地区で実施。
			R7	14	13	92.9%	R7年度は13地区で実施。－
			R8	14	－	－	－
		敬老率（%）※	R6	80	93	115.7%	全地区社協が実施したことがあり事業が浸透してきている。
			R7	80	95	118.9%	前年度と比較して微増。
			R8	80	－	－	－

※お年寄り（地域貢献活動を行っているお年寄り）に対して尊敬していると感じる市民の割合

②敬老祝金の贈呈

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
18	敬老祝金贈呈事業	対象者への通知件数（件）	R6	190	157	82.7%	R6年度は99歳85名、100歳72名へ贈呈。
			R7	190	132	69.5%	R7年度は99歳73名、100歳59名へ贈呈。
			R8	190	－	－	－

2 いきいき健康づくり

（1）健康づくりの推進

①心とからだの健康づくり

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
19	健康寿命の延伸につながる取組みを推進	設定無	R6	◎	佐倉市オリジナル体操(協力　順天堂大学)の普及としてホームページへの掲載、ヘルスアップ体操会等で実施しました。こころの健康に関する知識の普及として出前健康講座（ゲートキーパー養成研修等）の実施、・相談窓口等の情報提供、こころの相談などを実施しました。、市民自ら自分の健康に関心をもち、健康づくりに取り組むきっかけとなるよう佐倉市健康ポイント事業「チャレンジマイヘルスプラン2024」を実施しました。
			R7	◎	身体活動・運動の推進のため、「ヘルスアップ運動教室」及び「ヘルスアップ＋教室」の2つの運動教室を実施しました。また、こころの健康に関する知識の普及を図るため、出前健康講座やゲートキーパー養成研修を実施するとともに、相談窓口等の情報提供やこころの健康相談を行いました。。 さらに、市民が自ら健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組むきっかけとなるよう、佐倉市健康ポイント事業「チャレンジマイヘルスプラン2025」を実施しました。
			R8	－	－

②はり、きゅう、マッサージ等利用助成

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
20	はり・きゅう・マッサージ等施設利用助成事業	申請者数（件）	R6	3,500	3,393	97.0%	R5年度3,272件。微増。
			R7	3,500	3,245	92.8%	前年度と比較して微減。
			R8	3,500	－	－	－
		発行枚数（枚）	R6	38,750	37,806	97.6%	R5年度35,838枚。微増。
			R7	38,750	35,826	92.5%	前年度と比較して微減。
			R8	38,750	－	－	－
		助成券利用率（%）	R6	48.0	52.4	109.2%	R5年度52.9%。微減。
			R7	48.0	51.2	106.7%	前年度と比較して微増。
			R8	48.0	－	－	－

（2）スポーツ活動の推進

・ライフステージに応じた健康・体力づくり（佐倉市スポーツ推進計画）の取り組みとして、高齢者のスポーツ活動を推進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
21	高齢者のスポーツ活動を推進	設定無	R6	○	佐倉市高齢者クラブ連合会及び単位クラブの活動を支援、介護予防講座、わくわく体操会等の介護予防に関する普及啓発活動を118回（市27回、包括91回）、わくわく体操会の新規立ち上げはR6は希望団体なし。
			R7	○	佐倉市高齢者クラブ連合会及び単位クラブの活動を支援、介護予防講座、わくわく体操会等の介護予防に関する普及啓発活動を74回（市19回、包括55回）、わくわく体操会の新規立ち上げは4団体であった。
			R8	－	－

3 介護予防の総合的な推進

（1）一般介護予防事業

①介護予防把握事業

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
22	通いの場や短期集中予防サービスへつながった人数	人数（人）	R6	40	68	170.0%	通いの場：64名、短期集中予防サービス：4名
			R7	45	74	164.5%	通いの場：72名、短期集中予防サービス：2名
			R8	50	－	－	－

②介護予防普及啓発事業

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
23	介護予防教室等の開催	回 数（回）	R6	570	485	85.1%	R5年度の576回より減少。わくわく体操立ち上げ希望なしや夏季の暑さによる体操会の休止等があったため。
			R7	575	407	70.8%	令和6年度の485回より減少。夏季の暑さや冬季の感染症流行による介護予防活動団体の休止等もあったため。
			R8	580	－	－	－

③地域介護予防活動支援事業

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
24	介護予防ボランティア養成	新規養成者数（人）	R6	30	26	86.7%	計画地の30名には届かなかったが、R5年度の20人からは増加。
			R7	30	15	50.0%	令和7年度の20名より減少。研修受講者の高齢化や参加者数の減少が目立つため、積極的な周知を図っていく必要がある。
			R8	30	－	－	－
25	活動支援補助金の交付	団体数（団体）	R6	40	41	102.5%	令和5年度実績は31団体だったが、対象を屋外活動にまで拡大したことで増加となった。
			R7	40	40	100.0%	新規利用団体2団体。継続利用団体は補助金を活用し、安定した活動を継続することができている。
			R8	40	－		－
26	住民運営の介護予防活動団体支援	回 数（回）	R6	200	252	126.0%	R5年度の220回より増加。新規の補助金申請団体が増えたことにより、支援も増加。
			R7	200	216	108.0%	令和6年度より減少したが、目標値は達成した。
			R8	200	－	－	－

27	週1回以上活動する通いの場	か所数（か所）	R6	115	85	74.0%	目標値には達していないが、令和5年度実績は78件と比較し、増加しました。
			R7	120	90	75.0%	目標値には達していないが、令和6年度実績は85件と比較し、増加しました。
			R8	125	－	－	－
		参加者数（人）	R6	2,100	1,371	65.3%	目標値には達していないが、令和5年度実績1,308件と比較し、増加しました。
			R7	2,200	1,382	62.9%	目標値には達していないが、令和6年度実績1,371件と比較し、増加しました。
			R8	2,300	－	－	－

(2)介護予防・生活支援サービス事業

①訪問型

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
28	訪問介護相当サービス	利用者数（人）	R6	431	460	106.8%	計画値を上回りました。
			R7	427	499	116.9%	計画値を上回りました。
			R8	423	－	－	－
29	訪問型生活援助サービス	利用者数（人）	R6	5	4	80.0%	概ね計画値どおり。
			R7	5	4	80.0%	概ね計画値どおり。
			R8	5	－	－	－
30	訪問型サービスB補助金の交付	団体数（団体）	R6	6	6	100.0%	概ね計画値どおり。
			R7	7	7	100.0%	概ね計画値どおり。
			R8	8	－	－	－
31	訪問型サービスD補助金の交付	団体数（団体）	R6	2	1	50.0%	福祉有償運送サービスの実施団体が1団体減少。活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
			R7	2	1	50.0%	福祉有償運送サービスの実施団体は昨年度同様に1団体。活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
			R8	2	－	－	－

②通所型

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
32	通所介護相当サービス	利用者数（人）	R6	1,075	1,165	108.4%	計画値を上回りました。
			R7	1,104	1,245	112.8%	計画値を上回りました。
			R8	1,134	－	－	－
33	通所型短期集中予防サービス	利用者数（人）	R6	12	3	25.0%	利用希望者が減少しているため、事業の周知を強化していきたい。
			R7	14	1	7.2%	利用希望者が減少しているため、事業の周知を強化していきたい。
			R8	16	－	－	－
34	法人主体の通所型サービス	団体数（団体）	R6	2	2	100.0%	令和5年度実績は2団体。今後とも活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
			R7	2	2	100.0%	昨年度実績と同数。今後とも活動団体に対し、後方支援を継続していきたい。
			R8	2	－	－	－

③介護予防ケアマネジメント

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
35	介護予防ケアマネジメント	要支援相当者数(人)	R6	3,279	3,513	107.2%	令和5年度実績は3,210件。計画値を上回る実績となった。
			R7	3,371	3,773	112.0%	計画値を上回る実績となった。
			R8	3,465	－	－	－
		延べ利用者数（人）	R6	8,818	8,880	100.8%	令和5年度実績は8,840件。概ね計画値どおりとなった。
			R7	8,803	9,415	107.0%	概ね計画値どおり。
			R8	8,788	－	－	－

第2章 「安心な生活の確保」 ～住み慣れたまちで自分らしく暮らすために～

1 安心できる在宅福祉サービスの提供

(1)一人暮らし・高齢者世帯を支える在宅福祉サービス

①高齢者等ふれあい配食サービス

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
36	高齢者等ふれあい配食サービス	配食対象者数（人）	R6	210	196	93.4%	概ね計画値どおり。
			R7	225	207	92.0%	概ね計画値どおりであるが、提供可能な件数の限界もあり、計画数の見直しも要検討。
			R8	240	－	－	－
		延べ配食数（食）	R6	19,400	24,470	126.2%	計画値を大きく上回っており、利用者ごとの利用回数を適宜見直しながら引き続き実施していきたい。
			R7	20,300	23,657	116.6%	計画値を大きく上回っており、計画数及び実施方法の見直しも要検討。R8からは利用者の自己負担額を1食あたり350円から450円に変更。一部地域で事業者変更。
			R8	21,100	－	－	－

②緊急通報装置の貸与

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
37	緊急通報装置の貸与	貸与対象者数（人）	R6	330	302	91.6%	概ね計画値どおりであり、引き続き実施していきたい。
			R7	385	338	87.8%	計画値をやや下回っているが、1年で10%増加しており、件数の多寡のみで評価せず引き続き実施したい。計画値の見直しも要検討
			R8	420	－	－	－

③高齢者台帳への登録

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
38	高齢者台帳への登録	設定無	R6	○	市民への周知が課題であるが、令和5年度に様式を変更するなど必要な見直しを加えながら引き続き実施していきたい。
			R7	○	R7に民生委員の意見を聴取しながら再度見直しを実施。市民への周知が課題であるが、引き続き実施していきたい。
			R8	－	－

(2)在宅生活における介護者等への負担軽減

①紙おむつ等の購入費用助成

39

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
紙おむつ等購入助成事業	申請件数(件)	R6	1,670	1,551	92.9%	R5年度実績は1,518件の申請。微増。
		R7	1,780	1,434	80.6%	前年度と比較して微減。
		R8	1,890	－	－	－
	助成券利用実績(件)	R6	24,000	22,889	95.4%	R5年度実績は22,309件の利用。微増。
		R7	25,500	21,450	84.2%	前年度と比較して微減。
		R8	27,000	－		－

②訪問理美容出張費用の助成　③生活管理指導短期宿泊(ショートステイ)

40

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
訪問理容室出張費用の助成	設定無	R6	○	事業を継続実施している。
		R7	○	事業を継続実施している。
		R8	－	－

41

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
生活管理指導短期宿泊(ショートステイ)	設定無	R6	○	事業を継続実施し、必要な方については直接案内している。
		R7	○	事業を継続実施し、必要な方については直接案内している。
		R8	－	－

④福祉タクシー利用料金の助成

42

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
福祉タクシー利用料金の助成	設定無	R6	◎	身体障害者等のほかに、65歳以上で寝たきり高齢者台帳に登録している方にも、利用助成を行っています。
		R7	◎	身体障害者等のほかに、65歳以上で寝たきり高齢者台帳に登録している方にも、利用助成を行っています。
		R8	－	－

⑤介護者教室

43

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
介護者教室	開催回数(回)	R6	20	20	100.0%	介護に関する基本的な知識やストレス解消法を学ぶ教室を20回開催。
		R7	20	20	100.0%	介護に関する基本的な知識やストレス解消法を学ぶ教室を20回開催。
		R8	20	－	－	－
	延べ参加者数(人)	R6	300	408	136.0%	延べ男性100人、女性308人の参加があった。
		R7	320	436	136.3%	延べ男性103人、女性333人の参加があった。
		R8	340	－	－	－

⑥介護者のつどい

44

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
介護者のつどい	開催回数(回)	R6	40	40	100.0%	社会福祉法人に委託し計画的に実施していただいている。
		R7	40	40	100.0%	社会福祉法人に委託し計画的に実施。R8からは地域包括支援センターにて実施する介護者教室と統合する。
		R8	40	－	－	－
	延べ参加者数(人)	R6	400	248	62.0%	参加者数は大幅に計画を下回っており、周知方法若しくは実施方法の見直しを検討する必要がある。
		R7	410	245	59.8%	参加者数は大幅に計画を下回っており実施方法を見直し。R8からは地域包括支援センターにて実施する介護者教室と統合する。
		R8	420	－	－	－

⑦介護マークの交付

45

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
介護マークの交付	交付枚数(枚)	R6	10	10	100.0%	令和5年度の交付実績は5枚。計画値どおりとなった。
		R7	10	5	50.0%	令和6年は10件であったが、7年度は5年度と同数の5件であった。
		R8	10	－	－	－

(3)見守り支援・もしもの時の支援

①安心カードの交付

46

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
安心カード用紙配布事業	配布場所(か所)	R6	15	15	100.0%	計画値通り。
		R7	15	15	100.0%	計画値通り。
		R8	15	－	－	－

②救急医療情報キットの給付

47

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
高齢者安心キット給付事業	周知回数(回)	R6	2	2	100.0%	計画値通り。
		R7	2	2	100.0%	計画値通り。
		R8	2	－	－	－
	配布数(枚)	R6	3,500	3,210	91.8%	R5年度実績は3,031枚。微増。
		R7	3,200	3,059	95.6%	前年度と比較して微減。
		R8	3,000	－	－	－

③佐倉市高齢者見守り協力事業者ネットワーク

48

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
高齢者見守り協力事業者ネットワーク	設定無	R6	○	趣旨に賛同していただいた事業者と協定を結びネットワークを構成している。(R6年度末88事業所)
		R7	○	趣旨に賛同していただいた事業者と協定を結びネットワークを構成している。(R7年度末88事業所)
		R8	－	－

④2市1町SOSネットワーク

49

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
2市1町SOSネットワーク	捜索回数(回)	R6	35	24	68.6%	回数の多寡で評価せず継続して実施していく。
		R7	35	48	137.2%	回数の多寡で評価せず継続して実施していく。
		R8	35	－	－	－
	事前登録者数(ステッカー交付数)	R6	40	39	97.5%	昨年度実績(50名)を下回ってはいるが、概ね計画どおり。
		R7	40	44	110.0%	計画値及び昨年度実績(39名)をおよそ1割上回っているが、回数の多寡のみで評価せず継続して実施していく。
		R8	40	－	－	－

⑤高齢者見守り事業

50

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
見守りに関する啓発パンフレット	配架施設数(か所)	R6	65	5	7.7%	カラーの啓発パンフレットを作成し、市窓口及び地域包括支援センターへ配架。
		R7	66	250	378.8%	カラーの啓発パンフレットを市窓口及び地域包括支援センター、公共機関、医療機関、薬局等へ配架。
		R8	67	－	－	－

2 認知症にやさしい佐倉の推進

(1)認知症の理解を深めるための普及・啓発

①認知症サポーター養成講座

51

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
認知症サポーター養成講座	開催回数(回)	R6	40	30	75.0%	小中学校、高校等や自治会等、介護事業所や民間事業所等の他、一般市民等様々な団体へ実施した。
		R7	45	28	62.3%	一般市民や小中学校、高校、自治会、介護事業所や民間事業所等、様々な団体へ実施した。
		R8	50	－	－	－
	受講者数(人)	R6	1,000	1,454	145.4%	小中高校等の受講もあり、昨年度829人に比べ大幅な増加となった。
		R7	1,300	938	72.2%	前年度と比較して減少した。
		R8	1,700	－	－	－
	サポーター数(人)	R6	24,223	25,405	104.9%	概ね計画通りにサポーターを増やすことができている。
		R7	24,923	26,343	105.7%	概ね計画通りにサポーターを増やすことができている。
		R8	25,723	－	－	－

②認知症の人本人からの発信支援

52

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
認知症の人本人からの発信に関する普及啓発	設定無	R6	◎	世界アルツハイマーデーに合わせ、ふるさと広場の風車をオレンジ色にライトアップ及び市役所、JR佐倉駅構内、京成志津駅、京成ユーカリが丘駅、京成臼井駅、京成佐倉駅、京成大佐倉駅、志津図書館、南図書館、夢咲くら館、千代田・染井野ふれあいセンター、ふるさと広場売店において当事者のメッセージ(希望の木)、ポスター掲示を行った。
		R7	◎	世界アルツハイマーデーに合わせ、ふるさと広場の風車をオレンジ色にライトアップ及び市役所、JR佐倉駅構内、京成志津駅、京成ユーカリが丘駅、京成臼井駅、京成佐倉駅、京成大佐倉駅、志津図書館、南図書館、夢咲くら館、千代田・染井野ふれあいセンター、ふるさと広場売店、イオンユーカリが丘店において当事者のメッセージを掲載したポスターを掲示した。
		R8	－	－

③認知症サポート医、認知症専門医による普及・啓発

53

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
認知症サポート医、認知症専門医による普及・啓発	設定無	R6	△	認知症のケース検討会を認知症サポート医及び認知症対策検討会の委員、地域包括支援センターとともに実施した。
		R7	◎	認知症サポート医による市民向け講座を開催した。
		R8	－	－

④広報やリーフレットなどによる、認知症の理解促進等

54

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
広報やリーフレットなどによる、認知症の理解促進	設定無	R6	◎	9/1号広報に記事を掲載。世界アルツハイマーデーに合わせ、ふるさと広場の風車をオレンジ色にライトアップしたほか、市役所、JR佐倉駅構内、京成志津駅、京成ユーカリが丘駅、京成臼井駅、京成佐倉駅、京成大佐倉駅、志津図書館、南図書館、夢咲くら館、千代田・染井野ふれあいセンター、ふるさと広場売店、イオンユーカリが丘店においてポスター掲示、リーフレットの配架を行った。
		R7	◎	世界アルツハイマーデーに合わせ、ふるさと広場の風車をオレンジ色にライトアップしたほか、市役所、JR佐倉駅構内、京成志津駅、京成ユーカリが丘駅、京成臼井駅、京成佐倉駅、京成大佐倉駅、志津図書館、南図書館、夢咲くら館、千代田・染井野ふれあいセンター、ふるさと広場売店、イオンユーカリが丘店において当事者のメッセージとアルツハイマーデーのポスター掲示、リーフレットの配架を行った。
		R8	－	－

(2)予防

運動不足の解消、社会的孤立の防止等のため、地域において高齢者が身近に通うことができる通いの場を拡充

55

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
介護予防の総合的な推進	設定無	R6	×	通いの場の一つである「佐倉わくわく体操会」の新規立ち上げが令和6年度は0件だった。
		R7	○	通いの場の一つである「佐倉わくわく体操会」の新規立ち上げ数が令和7年度は4団体あった。
		R8	－	－

(3)医療・ケア・介護サービス・介護者への支援

①認知症初期集中支援チームによる支援

56

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
認知症集中支援チームによる支援	設定無	R6	○	訪問延べ件数95回(前年比+13)、チーム員会議51回開催(前年比-14)、新規支援者数17人(前年比-4)
		R7	◎	訪問延べ件数95回(前年比-2)、チーム員会議49回開催(前年比-2)、新規支援者数19人(前年比＋2)。チーム介入後に介護保険サービス等の利用につながった割合は、64.7%、医療通院の継続・新たに医療につながった割合は73.7%。
		R8	－	－

②認知症地域支援推進員活動の支援

57

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
認知症地域支援推進員活動の支援	設定無	R6	◎	各地域包括支援センターに1名以上配置し、月1回連絡会議を開催し活動を支援した。
		R7	◎	各地域包括支援センターに2名ずつ配置し、月1回連絡会議を開催し活動を支援した。
		R8	－	－

③認知症カフェ（オレンジカフェ）の開設

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
58	認知症カフェ（オレンジカフェ）	設置箇所数（か所）	R6	6	6	100.0%	6か所で開催し、開催回数62回、延べ参加人数1,261人だった。
			R7	7	9	128.6%	9か所で開催し、開催回数70回、延べ参加人数1,151人だった。
			R8	8	－	－	－

④物忘れ相談の実施

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
59	物忘れ相談	開催回数（回）	R6	12	12	100.0%	毎月1回、相談件数は41件であり、紹介状は15件発行した。
			R7	12	12	100.0%	毎月1回、相談件数は45件であり、紹介状は20件発行した。
			R8	12	－	－	－

⑤多職種連携研修会の開催

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
60	多職種連携研修	開催回数（回）	R6	5	2	40.0%	基幹型初期集中支援チーム訪問後の合同事例検討1回、認知症対策検討会と初期集中支援チーム合同の事例検討1回。
			R7	6	1	16.7%	認知症を学ぶ市民地域講座を1回開催、専門職も受講した。
			R8	6	－	－	－

⑥認知症連携シート「さくらパス」等の積極的な活用推進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
61	認知症連携シート「さくらパス」の積極的な活用推進	設定無	R6	◎	地域包括支援センターの総合相談等で活用した。
			R7	◎	地域包括支援センターの総合相談等で活用した。
			R8	－	－

⑦家族介護支援事業（介護者教室・介護者のつどい）の開催　**※第2章「1安心できる在宅福祉サービスの提供」(2)⑤⑥の再掲　39**

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
62	介護者教室**（再掲）**	開催回数（回）	R6	20	20	100.0%	介護に関する基本的な知識やストレス解消法を学ぶ教室を20回開催。
			R7	20	20	100.0%	介護に関する基本的な知識やストレス解消法を学ぶ教室を20回開催。
			R8	20	－	－	－
		延べ参加者数（人）	R6	300	408	136.0%	延べ男性100人、女性308人の参加があった。
			R7	320	436	136.3%	延べ男性103人、女性333人の参加があった。
			R8	340	－	－	－
63	介護者のつどい**（再掲）**	開催回数（回）	R6	40	40	100.0%	社会福祉法人に委託し計画的に実施していただいている。
			R7	40	40	100.0%	社会福祉法人に委託し計画的に実施。R8からは地域包括支援センターにて実施する介護者教室と統合する。
			R8	40	－	－	－
		延べ参加者数（人）	R6	400	248	62.0%	参加者数は大幅に計画を下回っており、周知方法若しくは実施方法の見直しを検討する必要がある。
			R7	410	245	59.8%	参加者数は大幅に計画を下回っており実施方法を見直し。R8からは地域包括支援センターにて実施する介護者教室と統合する。
			R8	420	－	－	－

⑧共生と社会参加活動の推進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
64	認知症とともに生きる、地域共生社会の構築	設定無	R6	◎	認知症地域支援・ケア向上推進事業補助金を活用した事業等において、認知症当事者の社会参画の機会を設けている。
			R7	◎	認知症地域支援・ケア向上推進事業補助金を活用した事業等において、認知症当事者の社会参画の機会を設けている。
			R8	－	－

⑨認知症の人の意思決定に基づく支援体制の整備

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
65	認知症の人の意思決定に基づく支援体制づくり	設定無	R6	◎	認知症当事者の参加するオレンジカフェ等において、本人の希望を取り入れた活動を行っている。
			R7	◎	認知症当事者の参加するオレンジカフェ等において、本人の希望を取り入れた活動を行っている。
			R8	－	－

⑩若年性認知症の人への支援、社会参加支援

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
66	若年性認知症の人への支援、社会参加支援	設定無	R6	○	若年性認知症に関する相談窓口の周知に努めた。今後個別支援についても取り組みを進めていきたい。
			R7	○	若年性認知症に関する相談窓口の周知に努めた。引き続き、個別支援を進めていく。
			R8	－	－

⑪認知症地域支援・ケア向上事業推進補助金

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
67	認知症地域支援・ケア向上事業推進補助金	交付団体数（団体）	R6	5	2	40.0%	社会福祉法人主催のボッチャ大会、民間企業主催の認知症啓発イベントに対し補助金を交付。
			R7	6	2	33.4%	民間企業が開催するオレンジカフェ（2か所）に対し補助金を交付。
			R8	7	－	－	－

（4）認知症バリアフリー、社会参加支援

①認知症高齢者声かけ訓練の実施

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
68	認知症高齢者声かけ訓練の実施	参加者数（人）	R6	80	77	96.3%	4地区で4回開催。（西志津・井野・内郷・表町）
			R7	90	66	73.4%	4地区で4回開催。（西志津・井野・城・染井野）
			R8	100	－	－	－

②チームオレンジ活動推進

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
69	チームオレンジ活動推進	新規登録者数（人）	R6	6	15	250.0%	15名が新規登録し、令和6年度末登録者数は67名となった。
			R7	7	30	428.6%	30名が新規登録、令和7年度末の登録者数は95名となった。
			R8	8	－	－	－

③佐倉市高齢者虐待防止ネットワークの活用　**※第2章4（3）②を引用**

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
70	高齢者の虐待防止ネットワークの活用**（再掲）**	設定無	R6	◎	高齢者のみならず、障害者、児童、DVの各ネットワークを一元化する「佐倉市家庭等における虐待・暴力防止ネットワーク会議」を構成し、必要に応じ情報共有したうえ協働どうして対応している。
			R7	◎	高齢者のみならず、障害者、児童、DVの各ネットワークを一元化する「佐倉市家庭等における虐待・暴力防止ネットワーク会議」を構成し、必要に応じ情報共有したうえ協働して対応している。
			R8	－	－

④2市1町SOSネットワーク　**※第2章1（3）④を引用**

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
71	2市1町SOSネットワーク**（再掲）**	捜索回数（回）	R6	○	回数の多寡で評価せず、継続していく。
			R7	○	回数の多寡で評価せず、継続していく。
			R8	－	－
		事前登録者数（ステッカー交付数）	R6	○	昨年度実績（50名）を下回ってはいるが、概ね計画どおり。
			R7	○	計画値及び昨年度実績（39名）をおよそ1割上回っているが、回数の多寡のみで評価せず継続して実施していく。
			R8	－	－

3 在宅医療・介護の連携と推進

（1）日常療養の支援

・医療と介護の両方を必要とする高齢者が地域でくらせるよう、患者・利用者・家族の日常の療養生活を支援

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
72	医療・介護の多職種連携・協働による支援	設定無	R6	◎	地域包括支援センターが支援したケース293件中137件（46.8%　複数回答あり）について、日常の療養支援を行いました。
			R7	◎	地域包括支援センターが支援したケースは、343件で昨年度より増加しました。そのうち、185件（53.9%複数回答あり）について日常生活療養支援を行いました。
			R8	－	－

（2）入退院支援

・入退院時に、医療機関と介護事業所等が一体的で円滑な医療・介護サービスの提供

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
73	医療機関・介護事業者の情報共有による支援	設定無	R6	◎	地域包括支援センターが支援した在宅医療介護連携ケース293件中165件（56.3%　複数回答あり）について、入退院支援を行いました。
			R7	◎	地域包括支援センターが支援したケースは、343件で昨年度より増加しました。そのうち、163件（47.5%　複数回答あり）について、入退院支援を行いました。
			R8	－	－

（3）急変時の対応

・在宅高齢者の本人の意思を尊重した急変時の適切な対応

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
74	医療・介護・救急(消防)の連携による支援	設定無	R6	◎	地域包括支援センターが支援したケース293件中20件（6.8%　複数回答あり）について、急変時の対応に関する支援を行いました。
			R7	◎	地域包括支援センターが支援したケースは、343件で昨年度より増加しました。そのうち、18件（5.2%　複数回答あり）について、急変時の対応に関する支援を行いました。
			R8	－	－

（4）看取りの対応

・在宅で医療と介護の両方を必要とする高齢者が、本人が望む人生の最終段階を迎えられるよう支援

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
75	在宅医療・介護連絡会議の開催	開催回数（回）	R6	1	1	100.0%	1回開催し、令和6年度の活動報告及び共通健康診断書について検討しました。
			R7	1	1	100.0%	1回開催し、令和7年度の活動報告及び連携推進するための勉強会・研修会について検討しました。
			R8	1	－	－	－
76	多職種の連携推進と資質向上のための多職種研修会等の開催	開催回数（回）	R6	2	2	100.0%	多職種による事例検討会、包括支援センター職員を対象とした研修会をそれぞれ1回開催しました。
			R7	2	9	450.0%	病院職員及び介護支援専門員、地域包括支援センター職員を対象とした研修会を市主催で1回、包括支援センター主催で8回開催しました。
			R8	2	－	－	－
77	市民への啓発活動	啓発回数（回）	R6	5	6	120.0%	認知症サポーター養成研修5回及び市民向け講演会1回にて「わたしらしく生きるを支える手帳」を配布しました。
			R7	6	7	116.7%	認知症サポーター養成研修を5回実施、出前健康講座1回実施、アドバンスケアプランニング（ACP）をテーマに市民向け講演会を1回開催、計7回の講座等で「わたしらしく生きるを支える手帳」を配布しました。
			R8	7	－	－	－

4 権利擁護と地域での見守り

（1）成年後見制度

①成年後見制度利用促進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
78	成年後見制度利用促進	設定無	R6	◎	第2期佐倉市成年後見制度利用促進基本計画に基づき実施している。
			R7	◎	第2期佐倉市成年後見制度利用促進基本計画（～R9）に基づき実施している。
			R8	－	－

②成年後見審判請求事務等

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
79	成年後見審判請求事務等	設定無	R6	◎	相談を受け、必要に応じ随時実施している。
			R7	◎	相談を受け、必要に応じ随時実施している。
			R8	－	－

(2)地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)

・認知症等により判断能力が不十分な高齢者が地域において安心して生活が送れるよう地域と連携して支援

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
80	地域福祉権利擁護事業	設定無	R6	◎	千葉県社会福祉協議会の委託を受けた佐倉市社会福祉協議会が実施している。
			R7	◎	千葉県社会福祉協議会の委託を受けた佐倉市社会福祉協議会が実施している。
			R8	－	－

(3)高齢者の虐待防止

①高齢者を取り巻く地域における見守り意識の高揚

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
81	高齢者をとりまく地域における見守り意識の高揚	設定無	R6	○	公共施設での見守りに関するパンフ・チラシ等を配架し、意識高揚を図った。
			R7	○	公共施設での見守りに関するパンフ・チラシ等を配架し、意識高揚を図った。
			R8	－	－

② 高齢者虐待防止ネットワークの活用

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
82	佐倉市高齢者虐待防止ネットワークの活用	設定無	R6	◎	高齢者のみならず、障害者、児童、DVの各ネットワークを一元化する「佐倉市家庭等における虐待・暴力防止ネットワーク会議」を構成し、必要に応じ情報共有したうえ協働どうして対応している。
			R7	◎	高齢者のみならず、障害者、児童、DVの各ネットワークを一元化する「佐倉市家庭等における虐待・暴力防止ネットワーク会議」を構成し、必要に応じ情報共有したうえ協働して対応している。
			R8	－	－

(4)養護老人ホームへの適切な入所措置

・日常生活を営むのに支障がある高齢者に対する、適切な老人福祉法第11条の規定による入所等の措置

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
83	養護老人ホームへの適切な入所措置等	設定無	R6	◎	必要に応じ適宜措置を実施している。
			R7	◎	必要に応じ適宜措置を実施している。
			R8	－	－

5 在宅生活を支える体制の充実

(1)生活支援体制の整備

①生活支援コーディネーターの配置

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
84	生活支援コーディネーター	配置人数(人)	R6	5	5	100.0%	計画値どおり。
			R7	5	5	100.0%	計画値どおり。
			R8	5	－	－	－

②協議体の設置及び運営

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
85	協議体	開催回数(回)	R6	30	34	113.4%	概ね計画値どおり。
			R7	32	42	131.3%	計画値を上回りました。
			R8	34	－	－	－

(2)地域ケア会議の推進

①地域ケア個別会議(課題解決型)、介護予防のための地域ケア個別会議(介護予防型)の実施

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
86	地域ケア個別会議(課題解決型)	実施件数(件)	R6	25	20	80.0%	各地域包括支援センターの判断で開催されるため、20件にとどまった。
			R7	25	24	96.0%	各地域包括支援センターの判断で開催されるため、24件にとどまった。
			R8	25	－	－	－
87	介護予防のための地域ケア個別会議(自立支援型)	実施件数(件)	R6	50	40	80.0%	計画値を下回ったが、R5年度と同程度の件数であった。(R5:40回)
			R7	50	40	80.0%	計画値を下回ったが、R6年度と同程度の件数であった。(R6:40回)
			R8	50	－	－	－

②地域ケア推進会議の実施

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
88	地域ケア圏域推進会議	開催回数(回)	R6	10	10	100.0%	計画値どおり推移している。
			R7	10	10	100.0%	計画値どおり推移している。
			R8	10	－	－	－
89	地域ケア推進会議	開催回数(回)	R6	1	1	100.0%	計画値どおり推移している。
			R7	1	1	100.0%	計画値どおり推移している。
			R8	1	－	－	－

6 高齢者が暮らしやすい住環境の整備

(1)福祉のまちづくりの推進

①福祉のまちづくりの推進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
90	福祉のまちづくりの推進	設定無	R6	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、各種事業を推進している。
			R7	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、各種事業を推進している。
			R8	－	－

②公共公益施設等の整備におけるユニバーサルデザイン化の推進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
91	公共公益施設等の整備におけるﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ化の推進	設定無	R6	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、だれもが円滑に利用できるユニバーサルデザインによる施設整備等に取り組んでいる。
			R7	○	バリアフリー法、県福祉のまちづくり条例や市総合計画のもと、だれもが円滑に利用できるユニバーサルデザインによる施設整備等に取り組んでいる。
			R8	－	－

(2)安心して利用できる交通基盤の整備

①道路整備

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
92	道路整備	設定無	R6	○	市総合計画に基づき、土木部が主管となって各種事業を推進しています。高齢者をはじめとする全ての市民が安心・安全に移動できるよう、幹線道路の整備を進めるとともに、市道の適切な維持管理に努めています。
			R7	○	市総合計画に基づき、土木部が各種事業を推進しています。高齢者をはじめとするすべての市民が安心・安全に移動できるよう、市道の適切な維持管理に取り組んでいます。
			R8	－	－

②公共交通の整備

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
93	公共交通の整備	設定無	R6	◎	佐倉市地域公共交通計画のに基づき、各種事業を推進しています。 コミュニティバス(5路線)の運行を継続しました。
			R7	◎	佐倉市地域公共交通計画に基づき、各種事業を推進しています。 コミュニティバス(5路線)の運行を継続するとともに、民間バス3路線(神門線・高崎線・千成線)について、補助金の交付を通じて維持・継続を図りました。 また、京成電鉄による京成佐倉駅北側のエレベーター設置を支援するため、補助金の交付を決定しました。(設置完了は令和10年度予定)
			R8	－	－

③交通安全の推進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
94	交通安全の推進	設定無	R6	○	市総合計画に基づき、土木部が主管となって各種事業を推進しています。区画線の補修、街灯や道路反射鏡の設置、通学路安全対策を通じて交通の安全確保を図りました。また、令和6年度からは全市民を対象に「自転車乗車用ヘルメット購入費補助金」事業を開始し、さらに街頭啓発活動としてチラシ配布等を実施しするなど交通安全の意識向上を図っています。
			R7	○	市総合計画に基づき、土木部が中心となって各種事業を進めています。 区画線の補修や街灯・道路反射鏡の設置、通学路の安全対策により交通安全の確保に取り組むとともに、警察に対して信号機や横断歩道等の整備・補修を依頼しました。 また、チラシ配布などの街頭啓発活動を行い、交通安全意識の向上を図っています。
			R8	－	－

④移動が困難な高齢者に対する支援

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
95	移動が困難な高齢者に対する支援	設定無	R6	◎	福祉有償運送運営協議会を2回開催。福祉有償運送の必要性、再新登録申請2件等について協議した。
			R7	○	福祉有償運送運営協議会を1回開催。福祉有償運送の必要性、新規登録申請1件、再新登録申請1件等について協議した。
			R8	－	－

(3)高齢者が生活しやすい住まいの整備

①市営住宅の修繕

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
96	市営住宅の修繕	設定無	R6	○	耐用年数を超えた市営住宅の浴槽等の交換等(5件)を行いました。これにより、高齢者であっても使いやすい環境を整えることができました。
			R7	○	市営住宅の給湯器交換(4件)を行いました。これにより、高齢者であっても使いやすい環境を整えることができました。
			R8	－	－

②高齢者に配慮したまちづくり・住宅づくりの誘導

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
97	高齢者に配慮したまちづくり・住宅づくりの誘導	設定無	R6	○	「バリアフリー法」や「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者等に配慮した施設づくりを推進するよう、建築主に対して指導・助言を行いました。
			R7	○	「バリアフリー法」や「千葉県福祉のまちづくり条例」に基づき、高齢者等に配慮した施設づくりを推進するよう、建築主に対して指導・助言を行いました。
			R8	－	－

③介護保険サービスにおける住宅改修費支給

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
98	介護保険サービスにおける住宅改修費支給	設定無	R6	◎	自宅内での生活に支障が無いように、対象となる改修を行った場合の改修費用を支援した。
			R7	◎	自宅内での生活に支障が無いように、対象となる改修を行った場合の改修費用を支援した。
			R8	－	－

④高齢者の住まいに関する情報提供、相談活動

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
99	高齢者の住まいに関する情報提供、相談活動	設定無	R6	○	市営住宅、県営住宅及びセーフティネット住宅について、ホームページへの掲載や窓口への資料配架により情報提供を行いました。住宅に困窮している相談者の状況に応じて、居住支援法人やくらしサポートセンターを案内しました。
			R7	○	市営住宅、県営住宅及びセーフティネット住宅について、ホームページへの掲載や窓口への資料配架により情報提供を行いました。住宅に困窮している相談者の状況に応じて、居住支援法人やくらしサポートセンターを案内しました。
			R8	－	－

⑤高齢者施設の整備方針について

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
100	高齢者施設の整備方針について	設定無	R6	◎	看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が各1施設開設。 公募により、地域密着型特別養護老人ホームの設置法人が選考、決定。
			R7	○	施設公募を実施し、認知症高齢者グループホーム(1施設)の応募があったが、事業予定地に遺跡が発見され、施設整備計画の見通しが立たなくなったため、応募の辞退となった。
			R8	－	－

7 地域包括支援センターの運営

(1)安定した事業運営

①地域包括支援センターの設置

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
101	地域包括支援センター	設置数(か所)	R6	5	5	100.0%	市内5つの生活圏域に1カ所ずつ地域包括支援センターを設置し運営している。
			R7	5	5	100.0%	市内5つの生活圏域に1カ所ずつ地域包括支援センターを設置し運営している。
			R8	5	－	－	－

②専門職の配置(3職種：保健師・看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員)

○配置基準

【ア 第1号被保険者(65歳以上高齢者)数が6,000人未満の場合】

第1号被保険者(65歳以上の高齢者)	職種及び職員数		
	保健師・看護師	社会福祉士	主任介護支援専門員
概ね1,000人未満	3職種のうち1～2名		
1,000人 ～ 1,999人	3職種のうち2名		
2,000人 ～ 2,999人	1名	いずれか1名	
3,000人 ～ 5,999人	1名	1名	1名

【イ 第1号被保険者(65歳以上高齢者)数が6,000人以上の場合】
圏域の高齢者人口及び面積を考慮し、3職種の数を定めます。

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
102	志津北部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R6	7	7	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
			R7	7	7	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
			R8	7	－	－	－
		その他職員(人)	R6	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R7	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R8	2	－	－	－
103	志津南部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R6	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R7	6	5	83.4%	職員の退職後採用活動を行ったが、年度末までに配置することができなかった。
			R8	6	－	－	－
		その他職員(人)	R6	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R7	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R8	2	－	－	－
104	臼井・千代田地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R6	8	8	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R7	8	8	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R8	8	－	－	－
		その他職員(人)	R6	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R7	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R8	2	－	－	－
105	佐倉地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R6	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R7	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R8	6	－	－	－
		その他職員(人)	R6	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R7	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R8	2	－	－	－
106	南部地域包括支援センター職員配置人数	3職種(人)	R6	6	6	100.0%	計画どおり配置することができた。ただし、保健師を配置することができなかった。
			R7	6	5	83.4%	採用活動を行ったが、計画どおり配置することができなかった。
			R8	6	－	－	－
		その他職員(人)	R6	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R7	2	2	100.0%	計画どおり配置することができた。
			R8	2	－	－	－

(2)相談体制の充実と相談機関の連携

・相談者に寄り添いながら丁寧な対応を行うとともに、的確な情報の提供や助言を行う。

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
107	総合相談	相談件数(件)	R6	6,170	6,259	101.5%	計画値を上回る数の相談対応を行った。
			R7	6,270	6,508	103.8%	計画値を上回る数の相談対応を行った。
			R8	6,360	－	－	－

(3)専門職による介護支援専門員の支援体制

・介護支援専門員の抱える支援困難事例等について、専門的な介護に関する提言や情報提供する。

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
108	介護支援専門員相談件数	相談件数(件)	R6	940	865	92.1%	計画値を下回ったが、昨年度の相談件数(788件)よりは上回った。
			R7	945	922	97.6%	計画値を下回ったが、昨年度の相談件数(865件)よりは上回った。
			R8	950	－	－	－

(4)圏域間の連携

・市及び地域包括支援センターで課題や解決策について情報共有し、支援体制づくりを推進する。

109

取組名	指標名	年度	計画地	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
連携会議	会議回数(回)	R6	20	37	185.0%	管理者会議10回、ケース検討会議27回。計画値を上回る数の会議を行った。
		R7	20	38	190.0%	管理者会議10回、ケース検討会議28回。計画値を上回る数の会議を行った。
		R8	20	－	－	－

(5)地域包括支援センターの事業評価

・地域包括支援センター業務を点検・評価した結果を、事業の改善や適切な運営に反映できるよう、適正な評価を実施

110

取組名	指標名	年度	進捗	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
事業評価(国)	得点率(%)	R6	93.0	99.0	106.5%	市及び各センターの事業評価の結果を基に、次年度の運営方針を作成した。
		R7	93.0	96.7	104.0%	市及び各センターの事業評価の結果を基に、次年度の運営方針を作成した。
		R8	93.0	－	－	－

8 災害・感染症対策の推進

(1)災害への対応

①高齢者施設の整備方針(福祉避難所協定、避難訓練、ライフライン確保等)について

111

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
高齢者施設の整備方針	設定無	R6	○	福祉部と危機管理部が主体となり、協定福祉避難所を運営する法人に対して、指定福祉避難所の指定について協議を進め、12施設を指定化した。
		R7	○	福祉部と危機管理部が主体となり、協定福祉避難所を運営する法人に対して、指定福祉避難所の指定について協議を進め、12施設を指定化した。また、指定化した施設へ備蓄物資購入に係る補助金を交付し
		R8	－	－

②在宅避難者への対応(自主防災組織・自治会等との連携、災害時要配慮者支援等)

112

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
在宅避難者への対応	設定無	R6	○	市地域防災計画のもと、福祉部と危機管理部が主体となり、調査・連携事業を推進している。
		R7	○	市地域防災計画のもと、福祉部と危機管理部が主体となり、調査・連携事業を推進している。
		R8	－	－

③BCP(業務継続計画)について

113

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
介護サービス事業所のBCP	設定無	R6	○	市指定の地域密着型サービス事業所について、BCP策定済かどうか調査済。 未策定の事業所に対し、引き続き策定に向けて支援。
		R7	○	市指定の地域密着型サービス事業所について、BCP策定済かどうか調査済。
		R8	－	－

(2)感染症等による健康危機への対応

・感染症の正しい知識と予防策を実践できるようわかりやすい広報等による啓発と、関係機関等と連携したまん延防止

114

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
適切でわかりやすい広報周知と関係機関との連携	設定無	R6	◎	患者が増加傾向にある感染症についてホームページに啓発記事を掲載し、注意喚起を行いました。また、保健センターで使用する手指消毒液等の衛生用品を購入し、感染症拡大防止を図りました。
		R7	◎	インフルエンザ予防接種については、65歳以上の方へ予診票を送付するとともに、広報紙や市ホームページを通じて周知を図りました。また、肺炎球菌定期予防接種については、65歳の誕生月に予診票を送付し、対象者が接種機会を逃さないよう取り組みました。
		R8	－	－

第3章 「介護」 ～いつまでも自分らしく生きるために～

1 介護保険制度の適正な運営

(1)介護保険サービスの推進

①事業所の整備

115

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
事業所の整備	設定無	R6	◎	看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が各1施設開設。 公募により、地域密着型特別養護老人ホームの設置法人が選考、決定。
		R7	△	地域密着型時特別養護老人ホームの整備及び認知症高齢者グループホームの浸水想定区域からの移転増床について事業を着手したが、資材高騰等社会情勢の影響により繰越明許費の設定となった。
		R8	－	－

②事業者への支援

116

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
事業者への支援	設定無	R6	◎	介護施設等物価高騰対策支援金を支給。
		R7	◎	介護施設等物価高騰対策支援金を支給
		R8	－	－

③共生型サービスの円滑な導入

117

取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
共生型サービスの円滑な導入	設定無	R6	△	地域共生型施設の新規整備はなかった。
		R7	△	地域共生型施設の新規整備はなかった。
		R8	－	－

(2)介護保険制度の円滑な運営や給付の適正化

①サービスの質の担保

118 119

取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
サービスの質の担保	集団指導回数(回)	R6	1	1	100.0%	zoomにて実施するとともに、参加できない事業所向けに市HPにて資料を掲載。
		R7	1	1	100.0%	zoomにて実施するとともに、参加できない事業所向けに市HPにて資料を掲載
		R8	1	－		－
	運営指導回数(回)	R6	20	21	105.0%	居宅介護支援事業所:8事業所　地域密着型サービス事業所:13事業所
		R7	20	24	120.0%	居宅介護支援事業所:10事業所　地域密着型サービス事業所:14事業所
		R8	20	－	－	－

②適切な要介護認定の推進

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
120	適切で迅速な認定体制の整備、電子化等による事務効率化	設定無	R6	◎	介護認定審査会のリモート開催を導入実施。調査員の雇用を確保し、安定した調査体制を整備。
			R7	◎	介護認定審査会のリモート開催を継続して実施。調査員の雇用を確保し、安定した調査体制を整備
			R8	－	－

③介護給付適正化事業の取組

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
121	適正化主要3事業の実施数	事業数（事業）	R6	3	3	100.0%	①要介護認定の適正化　②ケアプラン点検（住宅改修の点検、福祉用具購入・貸与調査を含む）　③医療情報との突合・縦覧点検の主要3事業を実施。
			R7	3	3	100.0%	①要介護認定の適正化　②ケアプラン点検（住宅改修の点検、福祉用具購入・貸与調査を含む）　③医療情報との突合・縦覧点検の主要3事業を実施
			R8	3	－	－	－
122	ケアプラン点検の実施数	件数	R6	20	15	75.0%	介護支援専門員の新規雇用による引継ぎ業務などでケアプラン点検等が進まなかった。
			R7	20	26	130.0%	ケアプラン点検等を計画値を上回るペースで実施
			R8	20	－	－	－

④低所得者等の負担軽減

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
123	利用者負担軽減制度の活用促進や個別制度の周知	設定無	R6	◎	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の利用、高額介護サービス費の支給、負担限度額認定等の事務を適切に執行。
			R7	◎	社会福祉法人等による利用者負担軽減制度の利用、高額介護サービス費の支給及び負担限度額認定等の事務を適切に執行
			R8	－	－

（3）介護サービスの質の向上

①苦情相談体制の充実

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
124	苦情相談体制の充実	設定無	R6	◎	国保連・地域包括支援センターと情報共有し、連携して解決を図るとともに、ケースによっては県にも情報提供。地域密着型介護サービス施設に指導監査を実施。
			R7	◎	千葉県国保連・市内地域包括支援センターと情報共有し、連携しながら解決を図るとともに、ケースによっては千葉県にも情報提供。地域密着型介護サービス施設に指導監査を実施。
			R8	－	－

②介護相談員派遣事業の実施

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
125	介護相談員派遣事業の実施	設定無	R6	○	新型コロナウイルスの感染拡大を受け受入休止していた施設についても一部派遣再開しました。
			R7	○	新型コロナウイルスの感染拡大を受け受入休止していた施設について引き続き声掛けし、一部施設において派遣再開しました。新設施設に対しても派遣受入を打診しています。
			R8	－	－

（4）介護保険などに関する情報の提供・周知啓発

①介護保険や福祉制度に関する情報の提供

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
126	介護保険や福祉制度に関する情報の提供	設定無	R6	◎	地域資源ブックを市役所や各包括支援センター等で配架した。また、市HPに掲載し周知を図った。
			R7	◎	地域資源ブックを市役所や各包括支援センター等で配架した。また、市HPに掲載し周知を図った。
			R8	－	－

②介護サービス事業者に関する情報の提供

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
127	介護サービス事業者に関する情報の提供	設定無	R6	◎	厚労省「介護サービス情報公開システム」、千葉県「ちば福祉ナビ」及びサービス提供事業所一覧を随時更新しHPにて掲載
			R7	◎	厚労省「介護サービス情報公開システム」、千葉県「ちば福祉ナビ」及びサービス提供事業所一覧を随時更新しHPにて掲載
			R8	－	－

2　介護人材の確保と効率化

（1）介護人材の確保と定着

①介護職員初任者研修　②介護支援専門員等資格取得補助

	取組名	指標名	年度	計画値	実績値	測定	事業の実績・進捗状況の説明
128	介護職員初任者研修	修了者数（人）	R6	24	19	79.2%	計画値を下回ったが、令和5年度実績（10人）を上回った。
			R7	24	19	79.2%	計画を下回った。
			R8	24	－	－	－
129	介護支援専門員等資格取得補助	補助者数（人）	R6	8	4	50.0%	補助制度の実施について事業所へのメール周知等を実施したが、計画値を下回った。
			R7	8	28	350.0%	令和7年度より、資格取得に加えて資格更新に係る費用も補助対象としたことにより、実績が増加した。
			R8	8	－	－	－

（2）介護現場の生産性向上

・介護ロボット・ICT（情報通信技術）の活用等により、介護現場の職場環境の改選を図る。

	取組名	指標名	年度	進捗	事業の実績・進捗状況の説明
130	介護現場の生産性向上	設定無	R6	○	電子申請届出システムにより事業所からの申請等受付開始。
			R7	○	・電子申請届出システムにより事業所からの申請等受付 ・生産性向上に資する千葉県からの最新情報等を地域密着型介護サービス施設及び居宅介護事業所等に対して周知
			R8	－	－